

鋳工業指数参考図表集  
(平成28年8月速報)

平成28年9月30日

経済解析室

URL : <http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result-1.html>

# 平成28年8月の鉱工業指数(速報)各指数の状況

## 生産・出荷・在庫・在庫率指数

月次	生産	出荷	在庫	在庫率
季調済指数	97.9	94.6	111.3	113.2
前月比	1.5%	▲ 1.3%	0.1%	▲ 3.5%
指数水準	H28. 1 98. 3以来 I H20. 2 117. 3 II H20. 1 117. 0 III H20. 3 116. 2	H28. 5 93. 5以来 ①H21. 2 79. 2 ②H21. 3 79. 7 ③H21. 4 80. 7	H28. 6 113. 9以来 I H20. 12 119. 8 II H21. 1 119. 5 III H20. 11 119. 1	H27. 10 113. 0以来 ①H20. 2 94. 6 ②H20. 4 95. 9 ③H20. 5 97. 0
前月比の動き	2か月ぶり+ (H28.6以来)	3か月ぶり▲ (H28.5以来)	3か月ぶり+ (H28.5以来)	2か月ぶり▲ (H28.6以来)
前月比幅	H28. 6 2. 3%以来 I H23. 5 6. 8% II H21. 4 4. 4% III H23. 6 4. 2%	H28. 5 ▲2. 6%以来 ①H23. 3 ▲15. 7% ②H21. 1 ▲9. 5% ③H20. 12 ▲7. 1%	H28. 5 0. 4%以来 I H23. 5 4. 7% II H28. 3 2. 9% III H24. 3 2. 5%	H26. 9 ▲5. 4%以来 ①H23. 6 ▲11. 7% ②H21. 6 ▲6. 7% ③H21. 3 ▲6. 0%
前年同月比(原指数)	4.6%	1.5%	▲ 1.8%	▲ 2.7%
前年同月比の動き	5か月ぶり+ (H28.3以来)	9か月ぶり+ (H27.11以来)	2か月連続▲ (H28.7~当月)	9か月ぶり▲ (H27.11以来)
前年同月比幅	H26. 3 7. 4%以来 I H22. 3 29. 2% II H22. 2 28. 8% III H22. 4 23. 8%	H27. 6 1. 7%以来 I H22. 3 28. 4% II H22. 2 27. 0% III H22. 4 25. 4%	H28. 7 ▲1. 8%以来 (超)H26. 2 ▲3. 2%以来 ①H21. 12 ▲17. 6% ②H22. 1 ▲16. 8% ③H21. 11 ▲16. 4%	H26. 4 ▲3. 4%以来 ①H22. 2 ▲34. 0% ②H22. 3 ▲33. 8% ③H22. 1 ▲32. 1%

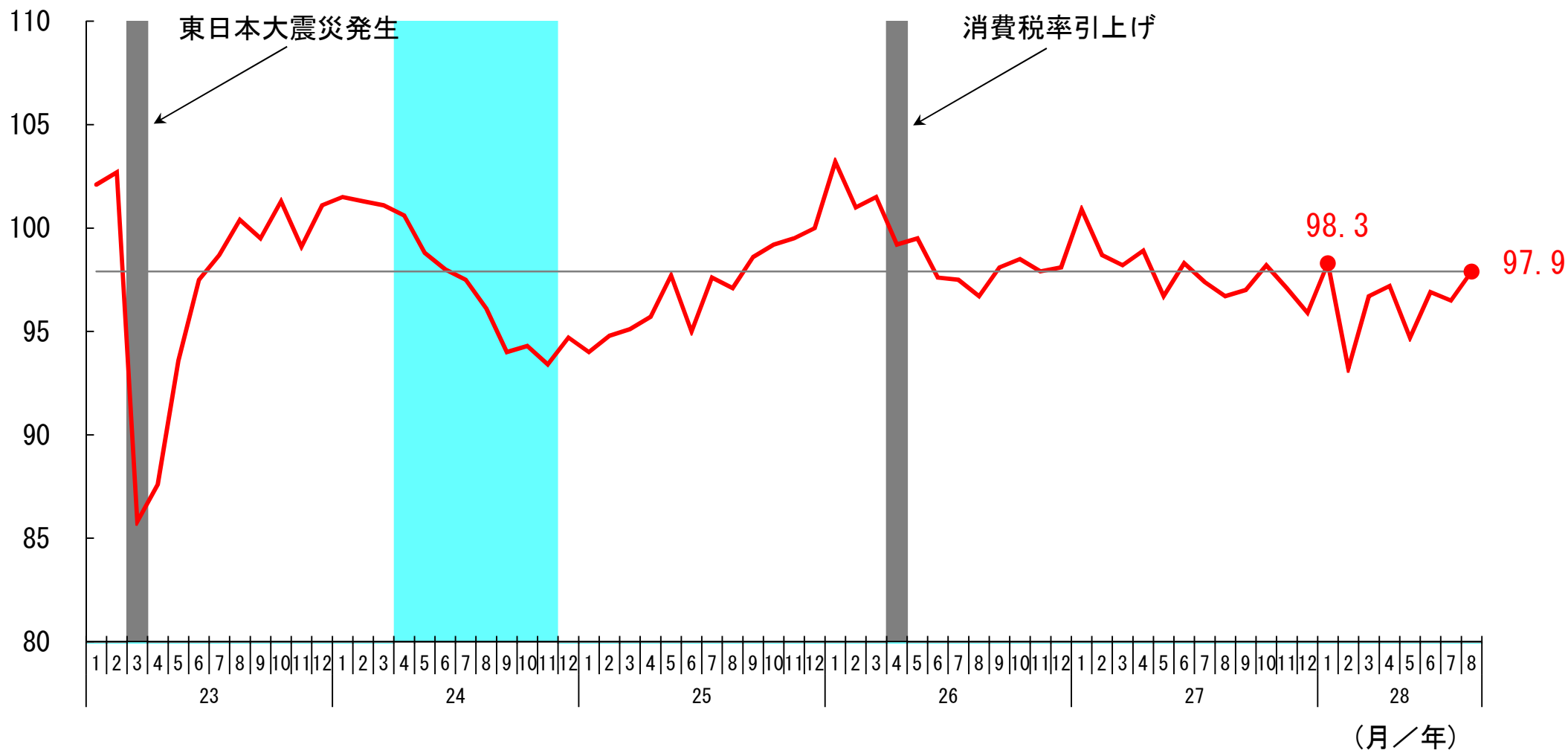
1) ▲はマイナス

2) I ~ IIIは22年基準における最大値から上位3位まで、①~③は最小値から下位3位までの数値

# 鉱工業生産指数の動向

- 平成28年8月の鉱工業生産指数は、97.9(前月比1.5%)と2か月ぶりの上昇。
- 平成28年1月の98.3以来の指数水準。

(22年=100、季節調整済)



# 平成28年8月の鉱工業生産の基調判断

## 「生産は緩やかな持ち直しの動き」

### 基調判断の推移

- ・平成26年9月～11月  
「生産は一進一退」
- ・平成26年12月～平成27年4月  
「生産は緩やかな持ち直しの動き」
- ・平成27年5月～7月  
「生産は一進一退」
- ・平成27年8月  
「生産は弱含み」
- ・平成27年9月～平成28年5月  
「生産は一進一退」
- ・平成28年6月～平成28年7月  
「生産は一進一退だが、一部に持ち直し」
- ・平成28年8月  
「生産は緩やかな持ち直しの動き」

※ 上方修正は平成28年6月以来  
今月の表現は、平成27年4月以来、1年4ヶ月ぶり

### 鉱工業生産指数

#### 四半期ベース

(平成22年=100、季節調整済)

	指数	前期比 (%)
平成27年 II期	98.0	▲ 1.3
III期	97.0	▲ 1.0
IV期	97.1	0.1
平成28年 I期	96.1	▲ 1.0
II期	96.3	0.2
III期	(98.2)	(2.0)

(注)

上記の平成28年III期の( )及び右表の平成28年8月、9月の( )内の数字は、製造工業生産予測指数の伸び率をそのまま鉱工業生産指数の最新月に適用して、機械的に計算したものである。製造工業生産予測指数は、鉱工業指数の対象のうち一部の企業に対して、今後の生産計画を調査したもの。

#### 月次(3か月移動平均値)ベース

(平成22年=100、季節調整済)

	指数	前月比 (%)
平成26年 9月	97.8	0.4
10月	98.2	0.4
11月	98.2	0.0
12月	99.0	0.8
平成27年 1月	99.2	0.2
2月	99.3	0.1
3月	98.6	▲ 0.7
4月	97.9	▲ 0.7
5月	98.0	0.1
6月	97.5	▲ 0.5
7月	97.5	0.0
8月	97.0	▲ 0.5
9月	97.3	0.3
10月	97.4	0.1
11月	97.1	▲ 0.3
12月	97.1	0.0
平成28年 1月	95.8	▲ 1.3
2月	96.1	0.3
3月	95.7	▲ 0.4
4月	96.2	0.5
5月	96.3	0.1
6月	96.0	▲ 0.3
7月	97.1	1.1
8月	(98.2)	(1.1)
9月	(99.8)	(1.6)



# 平成28年8月の鉱工業生産指数を大きく動かした品目（業種別）

		業種・品目名	前月比	寄与率
鉱工業生産を上昇方向へ引張った3業種の中で上昇への影響度が大きい2品目	1位の業種	電子部品・デバイス工業	6.3%	33.9%
	品目	電子部品	7.2%	18.5%
		集積回路	4.4%	9.3%
	2位の業種	情報通信機械工業	14.0%	24.9%
	品目	電子計算機	19.4%	15.6%
		民生用電子機械	12.2%	5.3%
	3位の業種	化学工業（除.医薬品）	3.6%	24.4%
	品目	化粧品	6.9%	14.1%
プラスチック		7.2%	6.9%	
鉱工業生産を低下方向へ引張った3業種の中で低下への影響度が大きい2品目	1位の業種	輸送機械工業	▲ 1.7%	▲ 23.2%
	品目	乗用車	▲ 4.9%	▲ 26.7%
		船舶・同機関	▲ 1.6%	▲ 1.5%
	2位の業種	石油・石炭製品工業	▲ 1.6%	▲ 1.9%
	品目	石油製品	▲ 1.6%	▲ 1.9%
	3位の業種	金属製品工業	▲ 0.7%	▲ 1.8%
	品目	建設用金属製品	▲ 6.2%	▲ 3.1%
その他の金属製品		▲ 0.9%	▲ 1.0%	

寄与率：生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。全93業種の寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら▲100%になる。

(注)全体の各品目は、個別品目ではなく、個別品目を統合した分類によるもの。

# 平成28年8月の鉱工業生産指数を大きく動かした品目（全体・財別）

## <全体>

		品目名	前月比	寄与率
鉱工業生産を <b>上昇</b> 方向 に引っ張った3品目	1位	電子部品	7.2%	18.5%
	2位	電子計算機	19.4%	15.6%
	3位	化粧品	6.9%	14.1%
鉱工業生産を <b>低下</b> 方向 に引っ張った3品目	1位	乗用車	▲ 4.9%	▲ 26.7%
	2位	化学機械	▲ 57.5%	▲ 10.3%
	3位	生活関連産業用機械	▲ 12.5%	▲ 4.6%

## <財別＝用途別>

	解説	品目名	前月比	寄与率
生産財	原材料として投入される製品	生産財	2.4%	83.0%
		アクティブ型液晶素子（中・小型）	17.6%	8.8%
		モス型半導体集積回路（メモリ）	9.0%	7.8%
資本財 （除. 輸送機械）	クレーンや金属工作機械など 設備投資に向けられる製品	資本財（除. 輸送機械）	1.4%	14.9%
		半導体製造装置	11.9%	14.6%
		ノート型パソコン	25.9%	4.1%
非耐久消費財	食料品や衣料品など 家計で購入される製品	非耐久消費財	0.5%	4.8%
		美容液	31.0%	9.0%
		クレンジングクリーム	24.1%	3.2%
建設財	鉄骨やセメントなど 建設投資に向けられる製品	建設財	▲ 0.4%	▲ 1.6%
		橋りょう	▲ 8.9%	▲ 1.9%
		鋼管製管継手	▲ 5.8%	▲ 0.6%
耐久消費財	テレビや電気冷蔵庫など 家計で購入される製品	耐久消費財	▲ 2.5%	▲ 18.8%
		小型乗用車	▲ 17.1%	▲ 13.4%
		普通乗用車	▲ 3.7%	▲ 13.2%

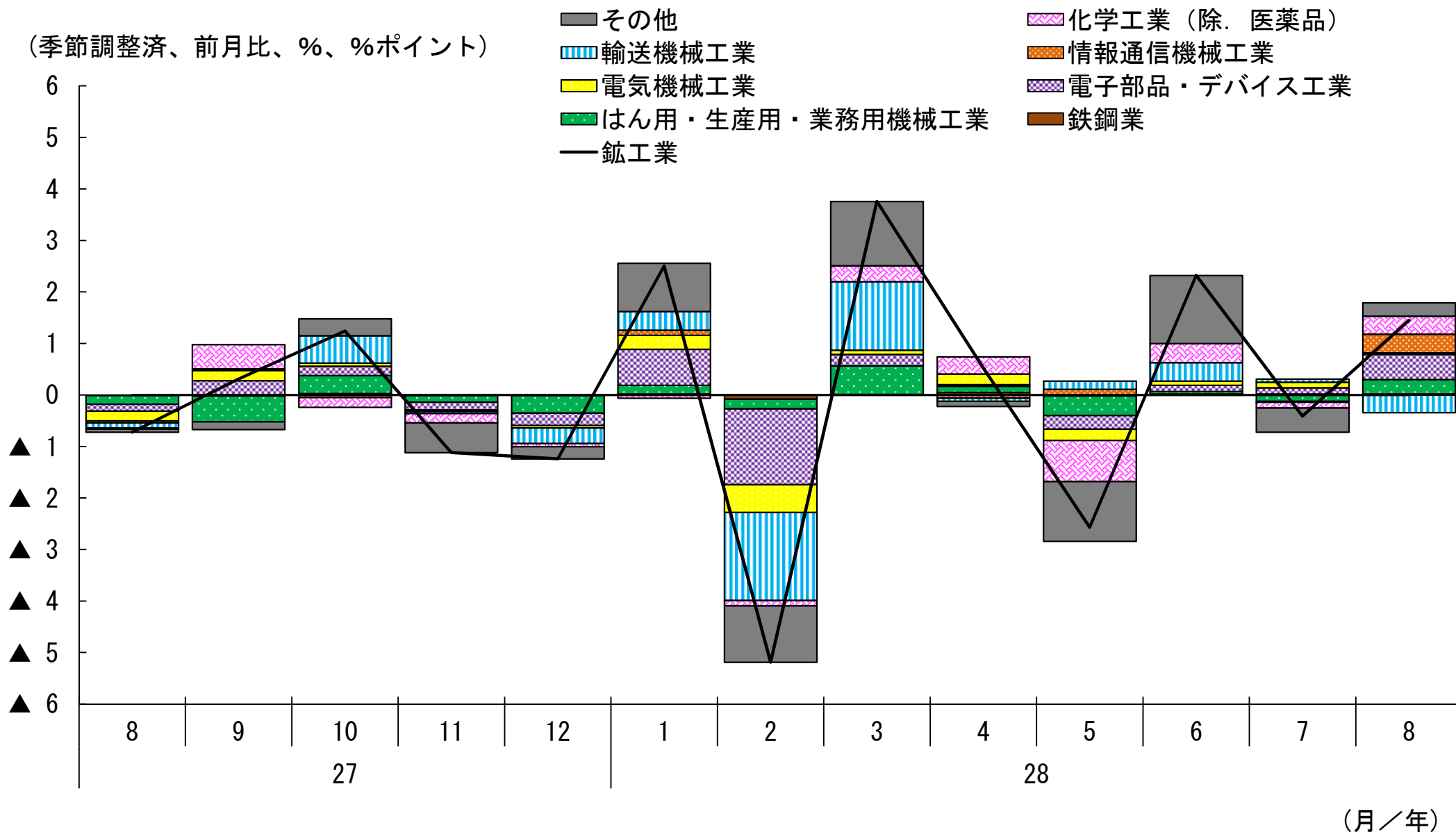
寄与率：生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。全93業種の寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら▲100%になる。

(注)全体の各品目は、個別品目ではなく、個別品目を統合した分類によるもの。

# 鋳工業生産指数への業種別寄与度分解

- 平成28年8月の生産指数は、輸送機械工業が低下したものの、電子部品・デバイス工業などが上昇したため、前月比1.5%の上昇。

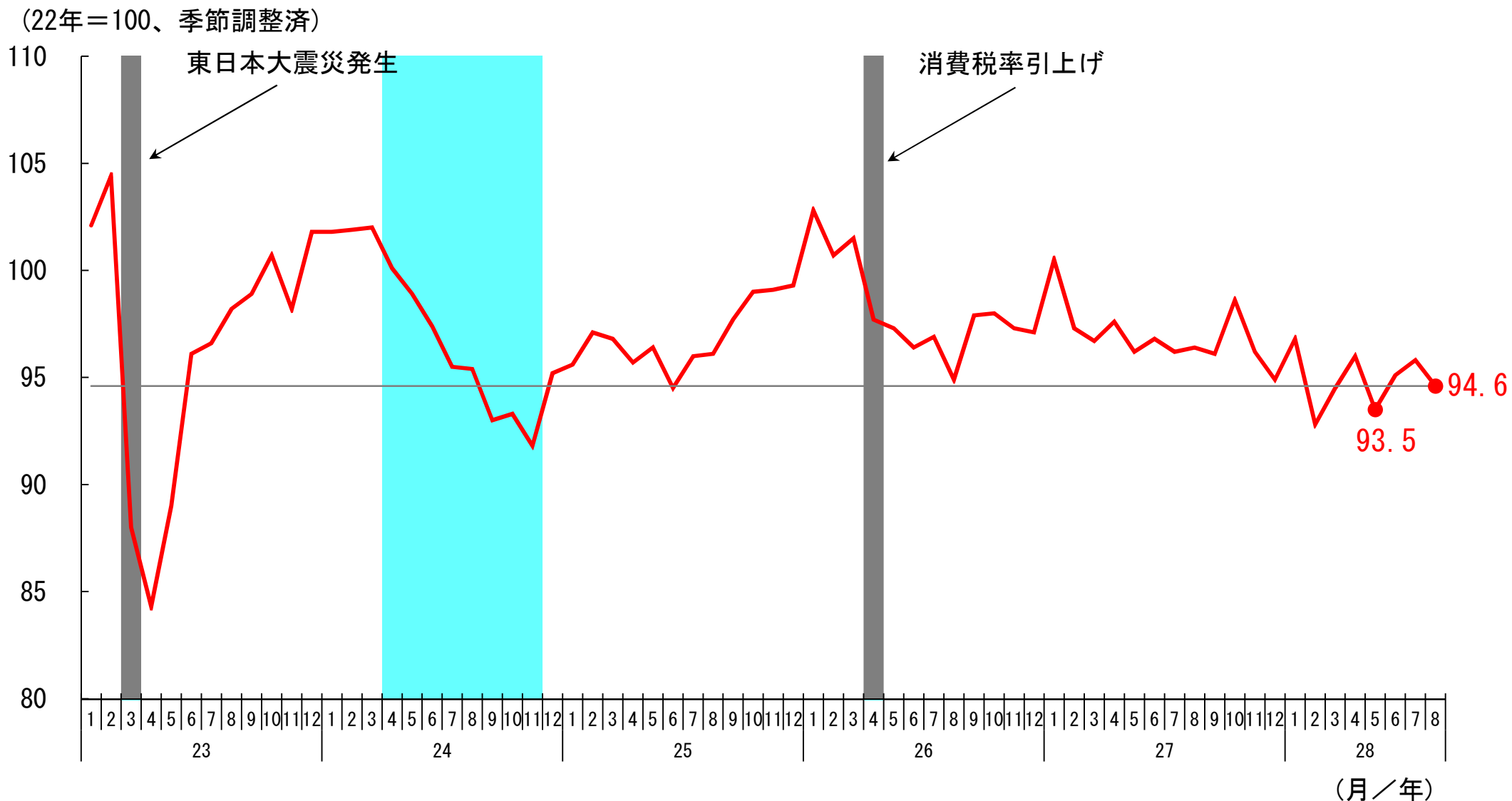
(季節調整済、前月比、%、%ポイント)





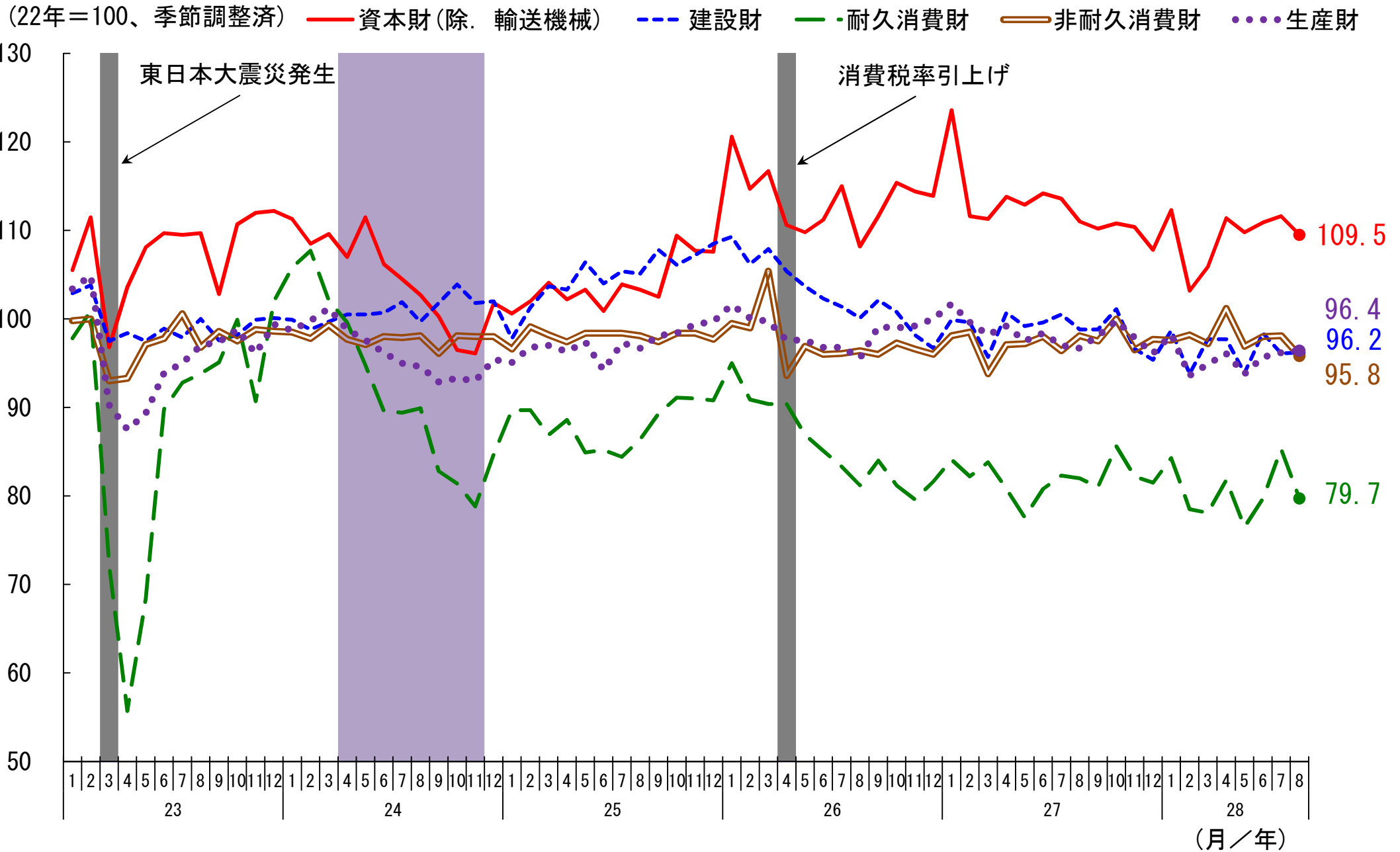
# 鉱工業出荷指数の動向

- 平成28年8月の鉱工業出荷指数は、94.6(前月比▲1.3%)と3か月ぶりの低下。
- 平成28年5月の93.5以来の指数水準。



(注)水色のシャド一部分は、景気後退局面。

# 財別出荷指数の動向



(注) 紫色のシャド一部分は、景気後退局面。

# 平成28年8月の鉱工業出荷指数を大きく動かした品目(財別)

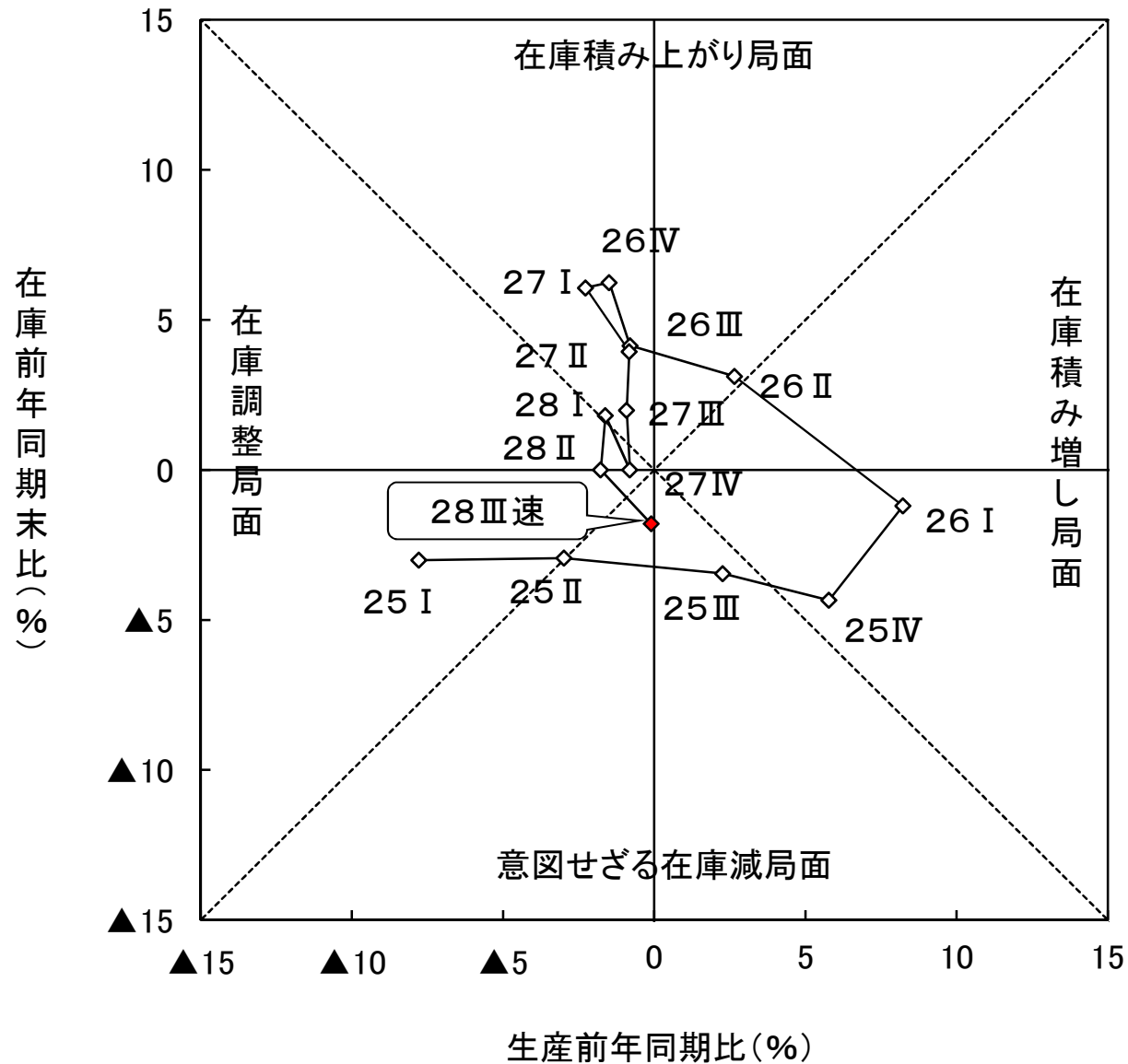
	解説	品目名	前月比	寄与率
耐久消費財	テレビや電気冷蔵庫など 家計で購入される製品	耐久消費財	▲ 6.6%	▲ 71.1%
		普通乗用車	▲ 10.0%	▲ 59.8%
		小型乗用車	▲ 11.9%	▲ 16.5%
非耐久消費財	食料品や衣料品など 家計で購入される製品	非耐久消費財	▲ 2.3%	▲ 22.3%
		ガソリン	▲ 5.9%	▲ 8.5%
		モイスチャークリーム	▲ 29.5%	▲ 5.9%
資本財	クレーンや金属工作機械など 設備投資に向けられる製品	資本財(除. 輸送機械)	▲ 1.9%	▲ 20.6%
		一般用蒸気タービン	▲ 89.0%	▲ 28.3%
		反応用機器	▲ 80.1%	▲ 11.1%
建設財	鉄骨やセメントなど 建設投資に向けられる製品	建設財	0.1%	0.5%
		アルミニウムエクステリア	6.5%	1.1%
		小形棒鋼	4.6%	1.0%
生産財	原材料として投入される製品	生産財	0.2%	8.4%
		アクティブ型液晶素子(中・小型)	15.9%	12.3%
		電気金	49.6%	6.5%

寄与率：出荷全体の変動に対して影響を及ぼした、財別の影響の度合い。全ての寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら▲100%になる。





# 鋁工業の在庫循環図



(注) 「28 III 速」の生産は7月と8月の平均値、在庫は8月末値を使用。

# 製造工業生産予測指数

## 9月、10月の2か月の生産予測伸び率

